

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年10月05日

計画の名称	西宮市における下水道施設の防災・安全対策事業（２）（防災・安全）（重点計画）												
計画の期間	平成30年度～令和02年度（3年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	西宮市												
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	2,147	A	2,147	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30当初	R1末	R2末
1	計画期間中に予定する下水道雨水対策の達成率（10年降雨確率）を0%（H30）から100.0%（R2）に増加させる。 計画期間中に予定する下水道雨水対策達成率（10年降雨確率） 整備管渠延長/計画期間中の整備が必要管渠の総延長	0%	80%	100%
2	計画期間中に予定するマンホールトイレの整備達成率を0%（H30）から100%（R2）に増加させる。 計画期間中に予定するマンホールトイレ整備達成率 マンホールトイレ整備箇所数/計画期間中に予定するマンホールトイレ整備箇所数	0%	67%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 西宮市内部にて評価を実施	事後評価の実施時期 令和4年10月
	公表の方法 西宮市ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・雨水管や貯留施設を整備したことにより、浸水被害の軽減に寄与した。 ・管渠及び処理場施設の耐震補強を実施したことにより、地震に対する安全性が向上した。 ・マンホールトイレを整備したことにより、災害時においてトイレの使用が可能となり、衛生的環境の確保に寄与した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
今後も引き続き、浸水対策、地震対策、老朽化施設の改築更新を行い、市民の安心・安全の確保、公共用水域の水質保全、持続的な下水道サービスの提供を図っていく。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	計画期間中に予定する下水道雨水対策達成率（10年降雨確率）	
	最終目標値	100%
	最終実績値	83%
2	計画期間中に予定するマンホールトイレ整備達成率	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%